

# 校友会報



## Contents

創立100周年を迎えるにあたって  
研究室から(社会福祉学部)

ホームカミングデー

- 邑久光明園

校友会活動報告

- はりま支部 交流会

大学の様子

- コミアワ報告会
- 地域連携フォーラム

校友インタビュー

オープンキャンパスのご案内

インフォメーション

- ひとくちメモ(大学概要)
- 姓名・住所等変更届のお願い
- 結婚式祝電サービス
- 個別校友会助成のご案内
- 第3回 赤穂ゴルフカップ



校友会  Instagram

フォローお願いします

大学の様子・校友会の活動等のお知らせします。  
是非、ご登録ください。

[https://www.instagram.com/kusw\\_kouyukai/](https://www.instagram.com/kusw_kouyukai/)  
アカウント: kusw\_kouyukai





## 学校法人 関西金光学園 『建学精神』

我々が天地の大徳によって生かされ、家族をはじめ多くの人々の祈りによって育てられていることの自覚と感謝の念から発して、その自分を大切に、将来世のお役にたつ人間となって、世界真の平和達成と文化の発展のために貢献し、そこに生き甲斐と喜びとを見出す人でありたいという念願にたって教育の徹底を期する。



学校法人 関西金光学園 理事長  
湯川 彌壽善

## 創立100周年を迎えるにあたって

学校法人 関西金光学園は、令和8年に創立100周年を迎えます。大正15年の創立から100年の歴史を重ねる中で、学園の先人たちが成そうとしてきたことは、やはり本学園の『建学精神』に込められているのだと、改めて意識させられます。

私どもは、現在運営する大学1校と高等学校3校、高校併設の中学校2校の全体を束ねる言葉として、時に「お道の学園」という言い方をいたします。この「お道の…」という表現は、どちらかと言えば世間一般に馴染んだものではありません。それを取って使う意味は、本学園が金光教とのご縁につながった学園であることが、少なからず関わっています。「お道」とは金光教そのものを指す言葉だと言えますが、少し意識すれば、金光教で語られる「人の履むべき道」を大切なものと位置づけ、そこに根差した教育の展開を願った学園、という意味合いになるのでしょうか。そういう学園ですから、前述の建学精神も金光教の中核的な教えをもとに策定されています。

ここで改めて申し上げたいのは、本学園のベースには、宗教的な教えが流れているということです。宗教的な教えとは、人間の智慧や力を超えて示されたものと捉えられ、人間の側が敬意をもってそれを受け止めていく、そういう理解の仕方をする側面があります。従って、宗教と関わりある学校であるがゆえに、その教えを全面的に押し出すといった単純なことではありません。本学園の場合、金光教の教えをベースに置いています。それは宗教的な教えに、人間が生きるための普遍的な価値へと高められていく可能性を見て、その教えを受け止めようとしているわけです。

今、日々届けられる新聞を広げて端々まで目を通してみますと、社会的、人間的に解決すべきこんなにもたくさんの課題がまだ山積みになっているのかと、国内外を問わずその問題の多さに追いつかない様が想像され、暗澹たる気持ちにさせられます。だからこそ、社会の荒波の中にあって自分がどう生きるか、その行動や展望の基準が必要になるのだと思わされます。私どもは宗教的な教えをもとに、そういう確かな基準を備えた人材の育成につなげていくことが、本学園として取り組むべき課題だと考えています。

## 設置校



関西福祉大学



金光藤蔭高等学校



金光大阪中学校・高等学校



金光八尾中学校・高等学校

では、本学園の建学精神には何が表明されているのでしょうか。ここまで述べてきたことを踏まえつつ、建学精神を丁寧に読みほぐせば、以下のように表現できるでしょう。

私たちは自分一人の力で生きているわけではありません。食物、水、空気などに恵まれ、また家族をはじめ多くの人のお世話になって生きています。これは自分が生かされている存在であることを、自然に物語る事実です。しかし、その自覚がある人もいれば、ない人もいます。自覚がない人には感謝の念はありません。自覚があれば、自ずと感謝の念がわいてくるはずで。

無条件に恵まれ、与えられていることを、金光教では「天地の恵みの中で、生かされて生きている」と表現しますが、では、私たちはなぜそのように恵みを受けられるのでしょうか。それは、同じく金光教で「人はみな神の氏子」と言われている通り、誰もが「神の氏子」なるがゆえに、無条件に平等に恵みを受用することになるのです。それはまた、私たち一人ひとりがみな、大切な存在であることを示しています。誰一人、大切でない人はいません。そこに気づくことが、自分を大切に、人もまた同様に大切にすることにつながります。

そうした人間観に立つて、私どももみなが世のお役にたつ人間となり、世界真の平和達成と文化の発展のために貢献し、そこに生き甲斐と喜びとを見出せるような人でありたいと念願する、そういう地平から教育の徹底を期したい。

本学園では、ベースとなる宗教的な教えから、今日の社会に対して意味のある人間の在り方を導き出し、その内実を備えた人材の育成に寄与することを創立以来のテーマとしてまいりましたが、学園として100周年を迎えるに当たり、それを学園に関わる一人ひとりに与えられた使命と捉える姿勢を闡明して、ここからの教育活動と学校運営に具現し、学園の歩みが進められることを願っています。「お道の学園」とは「人づくりの学園」を創造していくこと、それこそが私どもが共有する願いです。

研究室  
から

From laboratory

# 「つながり」を編み直し、 子どもの未来を支える

社会福祉学部 高田 豊司 教授

研究分野 ▶ 臨床心理学・子ども家庭福祉

研究室の窓から見えるキャンパスの風景は、季節の移ろいとともに表情を変えますが、そこで交わされる学生たちの活気ある声は、いつの時代も変わらぬ希望を感じさせてくれます。私の研究室では、臨床心理学と児童家庭福祉を二つの柱とし、主に被虐待児や里親家庭への包括的支援をテーマに研究・実践活動を行っています。

昨今、児童虐待に関する痛ましいニュースが後を絶ちません。その背景には、核家族化による育児の孤立、経済的困窮、そして親自身がかつて受けた心の傷など、複雑に絡み合った課題が存在します。私たちは、単に「不適切な養育」を批判するのではなく、「なぜ、守られるべきはずの家庭がここまで追い詰められてしまったのか」という問いに真摯に向き合う必要があります。臨床心理学的な視点から親子の心理的葛藤を紐解くと同時に、児童家庭福祉の観点から社会的な支援体制をいかに構築するか。この「個の心」と「社会の枠組み」の両面からアプローチすることが、本研究室の使命であると考えています。

特に近年注力しているのが、社会的養護の一翼を担う「里親」への支援です。親元で暮らせない子どもたちを家庭環境で育む里親制度は、子どもの愛着形成や心の回復において極めて重要な役割を果たします。しかし、多様な背景を持つ子どもを受け入れる里親家庭もまた、時に深刻な困難や葛藤に直面します。研究室では、里親がいかにして子どもとの絆を築き、どのようなサポートがあれば養育の喜びを実感できるのか、調査やインタビューを通じてそのプロセスを明らかにしようとして



います。現場の声に耳を傾けるたび、「個人の善意」に頼り切るのではなく、地域や専門機関がチームとなって支える「仕組み」の重要性を痛感させられます。

在学生の皆さんには、心理学の理論を学ぶだけでなく、その背景にある社会構造にも敏感であってほしいと願っています。教室で開く教科書の一行一行が、現実の誰かの人生に直結していることを忘れないでもらえたらと思っています。また、福祉や医療の第一線で活躍されている卒業生の皆様、日々のご尽力に心より敬意を表します。皆様が現場で直面している困難こそが、私たち研究者が取り組むべき次なる課題です。

研究室のドアは常に開かれています。大学という場所が、理論と実践が交差し、誰もが「助けて」と言える社会を共に構想する拠点であり続けられるよう、これからも学生たちと共に研究・実践に邁進してまいります。



# ホームカミングデー



11月1日(土)・2日(日)に関西福祉大学校友会ホームカミングデーを開催しました。お天気にも恵まれ、2日間で99名の卒業生が帰ってきてくれました。懐かしいお友達、教職員との再会を楽しんでおられました。また、初めての試みで、はりま支部がブースを出展してくださいました。

**【はりま支部】コメント**  
 校友会はりま支部として、新たな挑戦となる初めての学園祭出展が無事に終了いたしました。当日は懐かしい卒業生の顔ぶれに触れることができ、大変嬉しい時間となりました。ただ、学園祭運営に奔走する在学生の皆さんとは、なかなかゆっくり話す時間が持てなかったことが少し心残りでもあり、今後の課題と感じています。とはいえ、まずは「新たな一歩」を踏み出したことが、何よりの成果です。これからは、卒業生だけでなく在学生にとっても身近な存在となるよう、双方の「対話」が生まれる場を、より積極的に作っていきたいと考えております。

## 邑久光明園

### 汐風祭での人権啓発パネル展 - 校友会員とのコラボレーション

汐風祭の両日、邑久光明園友愛会の協力を得て、人権啓発のパネルを展示しました。邑久光明園は本学からほど近い、岡山県邑久町虫明にあるハンセン病の療養所です。ハンセン病に対する間違った理解から、患者を強制的に隔離する政策が採られていたため、抑圧の歴史を背負わされてきたことは、ご承知のことと思います。

現代では、適切な治療を行えば治る病気となりましたが、まだまだ差別や偏見は根強く、正しい理解へと至っていないのが現状です。そこで、パネル展示とDVDの上映をとおしてハンセン病の歴史や回復者の現在などを伝え、人権について学ぶ機会として企画しました。

来場した小学生のほとんどは「ハンセン病」を初めて聞いたとのこと、時代の移り変わりを感じると共に、一方で風化させないための取り組みの大切さを再確認しました。

なお、このパネル展は邑久光明園にお勤めの校友会会員との出会いによって実現したものです。私自身、ハンセン病には一般的な理解しかありませんでしたが、今回の取り組みを通して深く考える気づきとなり、校友会には感謝するばかりです。

みなさまも、現在の取り組みを汐風祭で展示や企画してみませんか？母校との絆が強くなります。どうぞ遠慮無くお声かけください。お待ちしております。

(文責：社会福祉学部長 岡崎 幸友)



## 校友会活動報告



### はりま支部 交流会

#### 秋晴れの海岸で校友の絆を深めたBBQ 交流会

10月5日(日)、大蔵海岸バーベキューサイトZAZAZAにて、支部交流会を開催しました。当日は一時雨に見舞われましたが、総勢30名の皆様の熱気で天候も回復！最後は海辺で遊べるほど晴れ間が広がり、まさに最高の交流日和となりました。今回は、春の総会で一番要望が多かったバーベキュー企画ということもあり、初参加の方やお子様連れのご家族も多く、世代を超えた笑顔と笑い声があふれる楽しい時間となりました。

校友の輪がさらに広がったことに、心より感謝申し上げます。「校友会」は堅苦しいものではありません。誰もが気軽に参加できるアットホームな場所です。

広報誌をご覧の「まだ校友会はりま支部の活動に参加したことがない」方も、どうぞご安心ください！

次回はぜひ、私たちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう！

## 令和7年度 コミュニティアワー報告会レポート ～「地域が教え、私たちが学ぶ」学生たちが描く共生社会の姿～

2025年12月9日、関西福祉大学A100大講義室にて「令和7年度 コミュニティアワー（通称：コミアワ）報告会」が地域の皆様を招いて開催されました。今年度は「共感から共働へ」「地域が教え、私たちが学ぶ」をテーマに掲げ、学生たちが1年間、地域社会の課題に真摯に向き合ってきた成果を発表しました。

### ■多角的な視点で挑んだ活動ハイライト

各ゼミの報告では、実社会のニーズを捉えた多様な取り組みが披露されました。

- 原ゼミ ..... 赤穂市のバス利用調査に加え、海岸清掃で回収した「牡蠣パイプ」をアクセサリにアップサイクルする試みなどを発表。
- 高田ゼミ ..... 児童養護施設退所者への支援や子育て制度の課題を鋭く分析。未来の福祉体制への提言を行いました。
- 熊野・水野・山本ゼミ ..... 重度障がいのある方の登城支援や農福連携など、スポーツ福祉を通じた多角的な地域貢献を紹介。
- 平林ゼミ ..... 精神保健福祉を身近に感じてもらうための展示・体験活動を通じ、地域での心の支え合いの重要性を発信。
- 萬代ゼミ ..... 能登半島地震の被災地ボランティアに従事。時間の経過とともに変化する「被災地の真のニーズ」を報告しました。
- 谷川ゼミ ..... 路上生活者支援や高齢者健康増進レクリエーションなどを通じ、個人の善意を社会の「仕組み」へと昇華させる必要性を提唱。

地域への熱い思いを胸に活動した学生たちの姿は、未来の共生社会を創る確かな力強さを感じさせるものでした。コミアワ学生代表者会議の面々と、活動を支えてくださった地域の皆様に、厚く御礼申し上げます。



報告会で学生実行委員が挨拶をしている場面



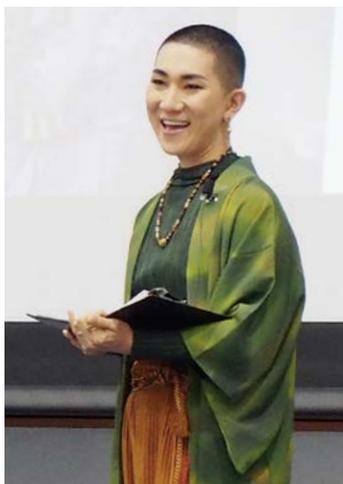
報告会后に学生実行委員だけの記念撮影



谷川ゼミの炊き出しでお弁当やお米などを配布している様子

## 第10回 関西福祉大学 地域連携フォーラム

11月1日の汐風祭当日、令和7年度の地域連携フォーラム\*が開催され、その基調講演の講師として「西村宏堂さん」をお招きし、「自分らしく生きる勇気～世界への一步～」と題してご講演いただきました。「西村宏堂さんって誰?」と思われた方もおられるかもしれませんので、簡単にご紹介します。西村さんは1989年生まれ、東京都出身で、ニューヨークの美術大学を卒業されています。その後、アメリカのTIME誌が選ぶ「次世代リーダー（Next Generation Leaders）」にも選ばれた、世界的に有名なメイクアップアーティストであり、また、日本の浄土宗のお坊様でもあります。さらに、LGBTQの当事者として、「性別も人種も関係なく皆平等」というメッセージを発信し続け、支援活動にも積極的に取り組んでおられる方です。その活動は、NHK・CNN（アメリカ）・BBC（イギリス）などのテレビ番組でも紹介され、2022年大晦日のNHK紅白歌合戦では特別審査員もつとめられました。



今回の講演は、一言で言うのは難しいのですが、西村さんご自身の幼少期（きれいなドレスが大好きで、いつも「お姫様ごっこ」をやっていたとのこと）から現在に至る人生を振り返りながら、「自分らしさ」を大切に、たった一度の人生を「正々堂々と生きる」ことの大切さに気付かれた、ということでした。ただし、その「正々堂々と生き

る」ことは、他者を無視して好き勝手に生きるということではありません。誰もが皆、人間として自分らしく生きる権利があり、それを実現するためには、互いにリスペクトしあい、支えあいながら「皆平等に生きる世界」をつくっていかうということもお話しくださしました。ご自身の具体的な体験に基づいたお話でしたから説得力があり、参加者の心に大きな感動と勇気を与えてくれました。性的マイノリティとして生きる苦悩、それを両親にカミングアウトし、「自分らしさ」としてとらえるようになる体験談は重みのあるお話でしたが、合間に、ミス・ユニバースの各国代表やハリウッドの著名人たちにメイクをする写真を見せていただいたり、メイクをする際の大切なポイントを教えていただいたり、楽しい内容も織り込まれ、明るく前向きな気持ちになりました。

西村さんのご希望により、講演終了後、質疑応答の時間を少し長めに取りました。大人数の講演会では、通常、フロアからの質問はほとんど出ないものですが、今回は次々と手が挙がり、西村さんはその一つ一つに、丁寧に、心をこめて答えてくださいました。そのような西村さんの質問者をリスペクトする姿に感銘し、参加者の多くが、正々堂々と手を挙げて発言する「勇気」をもったのかもしれません。

最後に、今回、西村さんの講演を聴けなかった方には（これまで知らなかった方も）、ぜひ、西村さんの著書\*\*を、お読みになることをお勧めします。元気づけられることと思います。

\* 「地域連携フォーラム」は、兵庫県赤穂市・上郡町と岡山県備前市（＝AKB）の連携によって策定された「東備西播定住自立圏共生ビジョン」による、本学主催事業の一つ。  
\*\* 西村宏堂著「正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ」【サンマーク出版、2020年】なお、2022年に英語の「This Monk Wears Heels『ハイヒールを履いたお坊様!』」を出版し、現在までに合計9言語で刊行されています。

# 校友インタビュー

## Q 現在のお仕事について

現在は老人保健施設（以下老健）で支援相談員をしています。主な業務としてはベッドコントロール、施設運営、個別ケースへの相談援助、在宅復帰支援になります。老健はリハビリを頑張っていた施設になり「自宅で暮らす（帰る）ためにリハビリを頑張りたい」と思われる方が入所を希望されるところになります。入所されている方の状態はさまざまに要介護1～要介護5、重度の病気で寝たきりの方や認知症があるがしっかり歩ける方などおられます。もちろん皆さんが自宅へ退所される方ばかりではなく「自宅での生活は難しいけれど今できることを維持したい」という方も老健入所の対象になります。老健で働いている他職種（医師、看護師、介護士、リハビリセラピスト、管理栄養士、施設ケアマネジャーなど）と連携し、チームケアを行っています。

## Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

老健の支援相談員になる前は老健の介護員を経て在宅介護支援センターで介護保険の申請支援、地域ボランティアの

支援を行っていました。その後は地域包括支援センター（明石市では地域総合支援センター）にて生活支援コーディネーターとして地域支援、その後社会福祉士として虐待対応や複合多問題への支援をしてきました。施設というより地域で仕事をするのが多かったこともあり地域支援への関心が高いと感じています。老健で行える地域支援もありますので今後より積極的に地域支援を行っていきたいと考えています。

## Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私は社会福祉士実習担当もしており毎年実習生が学びに来てくれています。実習は社会福祉士になるために行いますが、その業界（分野）、その職場を知る絶好の機会だと思いますので社会福祉士の知識、スキル以外にもたくさんの方のことを実習で学んでください。



松浦 裕一さん

社会福祉学部社会福祉学科 12期生  
平成23年度（2012年3月23日卒業）  
三幸福祉会  
清華苑養力センター  
リーダー



稲本 泰誠さん

教育学部児童教育学科 8期生  
令和6年度（2025年3月16日卒業）  
鳥取県米子市立淀江小学校  
教諭

## Q 現在のお仕事について

私は現在、小学校教諭として勤務しています。毎日、子どもたちとともに日々奮闘、日々成長しています。また、たくさんの先生方や保護者の方々の支えもあり、自分らしく教師として頑張っています。これからも子どもたちとともに学び続けることができる教師でありたいと思っています。

## Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

私の現在の目標としては、まずは目の前の子どもたちに全力で関わることです。1人の人間として子どもたち一人一人に分け隔てなく接し、子どもたちが楽しく安心して学び過ごすことができる環境を作りたいと思っています。そのためにも、私自身が子どもの目線に立ち、たくさんの人の助けをお借りしながら今後も成長し続けていくことが目標です。

また、子どもたちと接する中で「子どもたちの夢」や「希

望」などを一緒に見つけて、その応援やサポートをすることが今の私の夢です。

## Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私が伝えたいことは2つです。

1つ目は「もっとたくさんのことを経験していればよかった」です。バイトや友人関係、ボランティアや旅行などたくさんのことを大学生活でしていればよかったと感じています。知っていることが多い人は魅力的だなあと私は思いました。2つ目は、「もっと全力でしていたらよかった」です。勉強をもっと頑張っていたら…部活をもっと頑張っていたら…今になってですが「～たら、～れば」が本当にたくさんあります。ですが、自分が何か小さなことでも全力で取り組んだ経験があることは自分の自信に繋がると思います。皆さんもどんな小さなことでもかまいません。ぜひ、全力で取り組んでみてください。

私はそんなあなたのことを心より応援しています。

## Q 現在のお仕事について

小児科・内科、外科の混合病棟にて、新生児のケアから高齢者の看取りまで、幅広い看護を経験しています。誕生から人生の最終段階までに関わる環境の中で、年齢や病期に応じた看護の大切さ、そして家族を含めた支援や関わりの重要性を日々学んでいます。

自分の関わりが患者さんの今後の人生につながることを実感する経験を重ねる中で、「この人なら任せられる」と思っていただけの看護師になれるよう、日々業務に取り組んでいます。

## Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

今後も病棟看護師として働き続けたいと考えています。中でも小児看護を専門的に深めていくことが目標です。痛みやつらさ、不安を言葉にすることが難しい子どもたちが、少しでも安心して入院生活を送れるよう、一人ひとりに合わせた関わり方やコミュニケーション方法、そして専門的な知識を身につけていきたいと考えています。

## Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

看護師として働くためには、学生時代に身につける基礎がとて大切だと感じています。

覚えることが多く大変な時期もありますが、仲間と協力しながら一つひとつ乗り越えていってほしいです。

また、就職活動や勉強、実習などで思い詰めてしまうこともあると思いますが、一人で抱え込まず、仲間と一緒にリフレッシュし、オンとオフを上手に切り替えることも大切だと思います。

今振り返ると、長い夏休みは学生の時にしか経験できない貴重な時間だったと感じています。勉強ももちろん大切ですが、時間に余裕のある学生のうちに、友人と旅行に出かけるなど、たくさんの思い出を作っておけばよかったなと思います。

仲間と過ごす学生生活は今しかできない時間なので、ぜひ思いきり楽しんでください。



堀部 美海さん

看護学部看護学科 14期生  
令和4年度（2023年3月16日卒業）  
明和病院  
内科、小児科、耳鼻科、歯科  
看護師

お子様、ご兄弟、ご姉妹

はじめてのオープンキャンパスにオススメ!

# 関西福祉大学の オープンキャンパスに行こう!

2025年のオープンキャンパスは、たくさんの卒業生がお子さんと一緒に来てくれました。卒業後にできた新しい学科や施設、先生、そして後輩である元気な学生たちとの話もでき、懐かしさを感じながらも、親として来学することで、また新しい関福の様子を感じてもらえたのではないのでしょうか。

Q お子さんの反応はどうでしたか?

A 高校1年生の長男は、大学の雰囲気や部活、講義について知ることができたので将来のイメージが少しできたようでした。  
【武田さん】

Q お子さんと母校に来てみて、いかがでしたか?

A 学生時代を過ごした大学に、今度は親として来てみると、少し不思議で懐かしい気持ちになりました。校舎や設備も、随分ときれいになっていて、「自分の頃とはだいぶ変わったな」と感じました。親の立場で見ると、学ぶ環境やサポート面もしっかりしていて、変わらないアットホーム感もあり安心できる大学だなと改めて思いました。  
【藤井さん】

Q おすすめポイント・会員の皆さまへのメッセージ

A オープンキャンパスでは、大学の昼食体験に始まり、講座体験や大学生との交流、入試や小論文についても相談できるのが良いですね。学部も社会福祉・教育・看護があり、それぞれの学部学科の説明がオープニング後にまとめて受けられるのも良かったです。機会があれば是非、参加してみてください。  
【武田さん】

Q 関西福祉大学のオープンキャンパスに来たきっかけは?

A そろそろ進路を考える頃なので、まずはお父さんの行っていた大学を見てみたい。という息子(高校1年生)からの言葉でした。  
【元佐さん】

## 卒業生パパに 聞きました!

オープンキャンパスに参加された、  
武田さん(社福6期生)・  
元佐さん(社福2期生)・  
藤井さん(社福5期生)の  
3名にお話を伺いました。

在学生の温かい迎え入れと丁寧な対応は、来られる人の気持ちを和らげてくれます。関西福祉大学の『やさしさ』が受け継がれていることを嬉しく思います。  
【元佐さん】

進路が決まっていなくても「一回見に行ってみる」くらいの感覚で行けるのが卒業生の特権だと思います。親子で一緒に参加すると、自然と進路の話もしやすくなりますし、母校を改めて知る良い機会にもなります。迷っている段階だからこそ、気軽にオープンキャンパスに足を運んでみてください。  
【藤井さん】



要申込

無料ランチ有

オープンキャンパスは世代を超えて、関福の一体感を感じられる日です。卒業生子女、兄弟姉妹入学者への特典もあります。是非、お子様、ご兄弟姉妹の大学選びのスタートとして、関福のオープンキャンパスにお越しください!

## 2026年オープンキャンパス

福祉・教育・看護・医療・保健・保育・心理・スポーツ・ビジネスのスペシャリストを目指す

3/20(金・祝)・5/17(日)・6/21(日)・7/19(日)

8/9(日)・8/16(日)・9/6(日) **多くの方のご参加お待ちしております!**

入試制度、入学特典もあります。  
詳しくはお問い合わせください。  
入試広報課 TEL 0791-46-2532

- 社会福祉学部対象 …… 「社会福祉特別選抜」校友会推薦方式
- 全学科対象 …………… 「卒業生子女特別奨学金」
- 全学科対象 …………… 「兄弟姉妹特別奨学金」

## ひとくちメモ

- 開学 / 平成9年(1997年)4月
- 開設(大学院) / 平成21年(2009年)4月
- 学部・学科 / 社会福祉学部・社会福祉学科 平成9年(1997年)4月  
看護学部・看護学科 平成18年(2006年)4月  
発達教育学部(現:教育学部)・児童教育学科 平成26年(2014年)4月  
発達教育学部を教育学部と改称 平成30年(2018年)4月  
教育学部・保健教育学科
- 大学院 / 社会福祉学研究科 平成21年(2009年)4月  
看護学研究科修士課程 平成24年(2012年)4月  
看護学研究科博士課程 平成29年(2017年)4月  
教育学研究科 平成30年(2018年)4月
- 教員数 / 専任75名(助手含む) ●在学生数 / 1,402名
- 卒業生数(学部) / 累計6,939名 ●卒業生数(大学院) / 累計78名  
令和7年12月現在

## 姓名・住所等変更届のお願い

姓名・住所・電話番号・勤務先等の変更がありましたら、校友会事務局までお知らせください。変更手続きはHPサイトからも可能です。

▼PCサイトはこちらから



**住所、氏名等の変更手続きがなければ郵便物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡くださいますようご協力よろしくお願い致します。**

## 結婚式祝電サービス

ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りします。



## 個別校友会助成のご案内

卒業後も集まろう!



関西福祉大校友会では、同期会・サークルOB会等に、助成を行っています。懐かしい先生に会いに来て、ゼミ会をすることもできます。ホームカミングデーに併せて、クラス会をするのも大歓迎!是非、個別校友会活動助成をご利用ください。

お問い合わせお申込みは下記までご連絡ください

TEL 0791-46-2715 (校友会事務局)

メール koyukai@kusw.ac.jp



## 第3回 赤穂ゴルフカップ

おひとりでも2人でも  
何人でもお申込みOK!

2026年  
5/6  
水・振替休日

ゴルフを通じて親睦を深め、ゴルフ振興とジュニア育成に寄与することを目的にコンペを開催します。  
3回目となる今年はチームスクランブル戦で行います。  
多数のご参加をお待ちしております。

主催(共催) アース製薬 兵庫県プロゴルフ会 関西福祉大学



創部2年目  
大学日本一を  
輩出

## 第8回日本女子学生ゴルフ王座決定戦 優勝!!

女子学生ゴルファー日本一を決める第8回日本女子学生ゴルフ王座決定戦で、社会福祉学部2年生の河邊りえさんが優勝した。創部2年目の同大学ゴルフ部に団体、個人通じて初の全国タイトルをもたらした。大会は昨年11月25日~28日に沖縄県名護市の「かねひで喜瀬CC」(6735ヤード、パー72)で行われ、各地区の代表計51選手が出場。2日目まで計36ホールのストロークプレーで予選を行い、上位16人が3日目以降の決勝トーナメントをマッチプレーで戦った。

海からの強い風が吹く難しいコンディションで多くの選手がスコアを崩す中、河邊さんは我慢のゴルフで予選を12位で通過。決勝トーナメントでは安定したショットと好調なパットで着実にポイントを奪い、地元の応援と注目を集めた沖縄出身の選手や前年覇者などの難敵に勝利した。決勝戦は、秋の全日本女子大学選手権で団体優勝した東北福祉大学の主力選手と接戦のまま後半へ。「ここまで来たら優勝を」と強気にピンを狙って勝負を仕掛け、粘る相手を振り切った。

広島県出身の河邊さんは3人の姉が全員ゴルフを競技する環境で育ち、幼いころから自然とクラブを振っていた。中3でプロゴルファーになることを将来の目標に掲げ、高3で全国3位に。実績のある名門大学に進む選択肢もあった中、新たにゴルフ部を創設した関西福祉大を選んだ。

入学時に「学生チャンピオンのタイトルを獲得する」と父に約束。大学1年目は足の負傷で試合に出ることすらかなわず苦しんだが、見事な復活で有言実行した。全国優勝は1997年の開学以来、すべてのクラブを通じて初めての快挙となる。

「日が経つにつれて優勝した実感がわいてきた」と河邊さん。「スポンサーをはじめ応援してくれたみなさんのおかげ」と周囲への感謝を忘れず、「もっとショットの精度を上げて、平均してアンダーパーで回れるようになりたい」とさらなる高みを目指している。

開催日	令和8年5月6日(水・振替休日)
会場	赤穂カンツリークラブ (兵庫県赤穂市鶴和字中河原909)
定員	150名+ジュニア
参加費	3,500円(高校生以下無料) ※プレー費は別途必要 ※昼食付 (高校生以下はプレー費も無料)
参加資格	プロ、アマ問わずどなたでも参加できます
申込締切日	令和8年4月13日(月) ※ただし、定員になり次第、締め切り
プレー方式	チームスクランブル/ハーフコンペ ※18Hプレー。前半9Hのスコアで順位決定。
結果発表	各組プレー終了後にご確認いただき、 随時表彰させていただきます
申込方法	お電話もしくは 右記二次元コードより お申し込みください
申込窓口	〈事務局〉関西福祉大学ゴルフ部 (担当: 吉田・山戸) TEL: 0791-46-2735 FAX: 0791-46-2526 E-mail: yoshida@kusw.ac.jp

個人協賛・法人協賛・商品協賛 募集!  
事務局までご連絡をお待ちしています

関西福祉大学ゴルフ部  
Instagram



令和7年の様子は  
こちら



## 関西福祉大学 校友会報 第46号

●発行月 令和8年3月  
●発行所 関西福祉大学 校友会  
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3  
Tel. 0791-46-2525(大学代表)  
Tel. 0791-46-2715(校友会事務局)  
Fax. 0791-46-2526(大学代表)  
e-mail: koyukai@kusw.ac.jp

◎次号は令和8年9月発行予定!!



●大学 HP  
https://www.kusw.ac.jp/

●校友会 HP  
https://www.kusw.ac.jp/kouyukai/

